

協会本部のトピックス(インフラストラクチャー研究所)

インフラ整備 70 年講演会

20 世紀後半から今日までの 70 年間は、我国のインフラ整備事業が最も広汎かつ大規模に進められた時期であり、現在の我国社会が享受しているインフラサービスの過半がその時期に新たに整備されたり大改良を加えられたりした事業の成果そのものであるとって過言ではありません。それらの事業の記録はさまざまな形で残されていますが、それに関わった人々の声を聴く機会は少なくなっています。協会本部ではこのような状況を踏まえ、戦後のインフラ整備事業の代表的な事例に直接・間接に関わった方々から、その経験や見聞を講演して頂き、それを記録することで、インフラ整備の意義や携わった人々の偉業を、建設コンサルタント技術者にはもちろん、広く一般社会に伝えたいとの思いから、「戦後インフラ整備事業研究会」を設置し、各種事業の中から 100 プロジェクトを選び、インフラストラクチャー研究会 (<https://infra-study.net/>) の協力を得て、各プロジェクトの講演会の開催を行ってきています。

講演会については 2018 年 9 月の第 1 回（黒四ダム）を皮切りに 2020 年 1 月の第 17 回（東名高速道路）までは対面式にて開催、各回 300 名前後の方に参加いただきました。2020 年 2 月～2021 年 2 月はコロナ感染拡大を考慮して中止としましたが、2021 年 3 月の第 18 回（多摩田園都市と田園都市線）からオンライン形式にて再開、2023 年 6 月の第 41 回（首都高速湾岸線）まで、全国から 1000 名近い方々に参加していただいています。

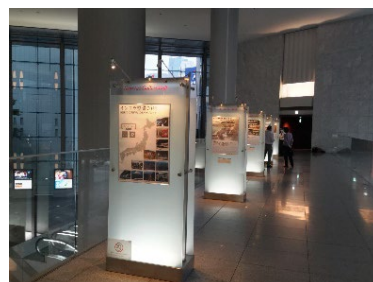
また、6 講演ごとに取りまとめた講演概要集の発行 (Vol.1～5) や協会 HP 内にて特設サイトを開設し、いつでもだれもが代表的なインフラ整備事業に触れる機会を設けています。さらに、共同通信社ビルのギャラリー・ウォーク(新交通ゆりかもめ「汐留駅」とデッキで直結)にて、講演会案内のために作成したポスターを展示する一般社会に向けた広報活動も行っています (2022.12(第 1～12 回)、2023.1(第 13～24 回)、2024.3 予定(第 25～36 回))。



第 1 回講演風景



講演概要集 (6 講演ごとに取りまとめ)



ポスター展示風景

引き続き 100 プロジェクトの講演実施に向け、各プロジェクトに関わる講演関係者の多大なるご支援ご協力のもと、今後は、講演者と直接の交流機会を得る対面式および移動制約の軽減メリットのあるオンライン形式を併用するハイブリッド形式での講演会実施を考えていきたいと思ひます。

インフラ整備 70 年； <https://www.jcca.or.jp/infra70new/index>